

令和8年度 第1回 鈴鹿市地域公共交通会議 議事要点録

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 日 時   | 令和8年5月20日（水）14:00～16:00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
| 場 所   | 鈴鹿市役所本庁舎 12階 1202会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |
| 出 席 者 | 交通ジャーナリスト 鈴木 文彦（副会長）<br>中部大学 名誉教授 磯部 友彦（副会長）<br>三重交通株式会社企画部部長 小瀬古 恵則<br>三重交通株式会社中勢営業所長 谷 直人<br>三重交通労働組合中勢支部支部長 高橋 克典<br>鈴鹿市旅客自動車協会鈴乃会会長 辻 泰生<br>一般社団法人三重県タクシー協会専務理事 景山 和<br>近畿日本鉄道株式会社名古屋統括部運輸部白子駅長 川端 一志（代理）<br>伊勢鉄道株式会社取締役 石野 雅美（監査委員）<br>中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官 堀出 寛人<br>三重県地域連携・交通部交通政策課 主任 勝又 一樹（代理）<br>三重県鈴鹿建設事務所保全課長 松本 一彦（代理）<br>鈴鹿警察署交通第一課課長 澤野 仁嗣<br>鈴鹿市副市長 内藤 洋（会長）<br>鈴鹿市自治会連合会 会長 水野 克則<br>鈴鹿市老人クラブ連合会 会長 伊藤 壽一【欠席】<br>鈴鹿市老人クラブ連合会 女性部長兼副会長 北川 紗知子<br>鈴鹿市生活学校 会長 樋口 よしゑ<br>鈴鹿商工会議所 副会頭 家田 孝<br>鈴鹿市社会福祉協議会 会長 亀井 秀樹（監査委員） |  |

## 1 あいさつ

### 【事務局】

- ・ 会議は公開とし、議事要点録を後日市ウェブサイトへ公開する。

### 【会長】

- ・ 委員 20 名中 19 名の出席があり、会議成立を宣言する。
- ・ 「鈴鹿市地域公共交通会議傍聴要領」に基づき、傍聴人の入室を許可する。

## 2 趣旨説明

### 【委員】

- ・ 資料 1 に基づき説明。

## 3 協議事項

(1) <第 1 号議案> 令和 7 年度鈴鹿市地域公共交通会議事業報告（案）

(2) <第 2 号議案> 令和 7 年度鈴鹿市地域公共交通会議決算（案）

### 【事務局】

- ・ 議案に基づき説明。

### 【会長】

- ・ 出席委員の 4 分の 3 以上の賛成があり、会議規程第 8 条第 4 項の規定に基づき、第 1 号議案、第 2 号議案は議決。

(3) <第 3 号議案> 令和 8 年度鈴鹿市地域公共交通会議事業計画（案）

(4) <第 4 号議案> 令和 8 年度鈴鹿市地域公共交通会議予算（案）

### 【事務局】

- ・ 議案に基づき説明。

### 【委員】

- ・ バスロケーションシステムに関する予算がついていないが、検討はするが導入はしないということか。

### 【事務局】

- ・ C-BUS のバスロケーションシステムは、令和 7 年度に導入済。C-BUS 運行維持費の中に維持費用が含まれている。

【委員】

- ・デマンド交通については、特定の一部地域に対して実施しても良い結果が得られないのではないか。今後実施されるのであれば、人口が多い地域で実施するべきと考えるがいかがか。

【事務局】

- ・令和6年度に実施したデマンド型交通の実証運行については、地域内支線として、公共交通が不便な地域への対策として実施したものである。結果については、令和7年11月の鈴鹿市地域公共交通会議において報告しているとおりである。行政、交通事業者、地域住民による適切な役割分担の下、将来の地域公共交通ネットワークについて検討していくことが大切と考えている。

【委員】

- ・交通空白地域以外にも、団地などにおいては建物の老朽化や住民の高齢化などが問題となっている場所がある。不便な点があることに変わりないのに実施地域として選べない、整備されないのは不安である。もっと地域の声を聴いてデマンド交通を整備検討してほしい。

【事務局】

- ・地域から頂いた意見を実現するために議論するのが地域公共交通会議の場と認識している。交通事業者とのサービス競合を調整しながら、施策に反映できるよう意見を頂戴したい。

【会長】

- ・出席委員の4分の3以上の賛成があり、会議規程第8条第4項の規定に基づき、第3号議案、第4号議案は議決。

(4) <第5号議案> 鈴鹿市地域公共交通会議規程の一部改正について

【事務局】

- ・議案に基づき説明。

【会長】

- ・出席委員の4分の3以上の賛成があり、会議規程第8条第4項の規定に基づき、第5号議案は議決。

### 3 報告事項

#### (1) 鈴鹿市地域公共交通計画に基づく令和7年度事業報告及び令和8年度事業計画

##### 【事務局】

- ・資料2に基づき説明。

##### 【委員】

- ・JR関西本線に関しての報告及び計画がない。いずれリニアの駅が亀山近辺にできる話もある中で、無人化しつつある関西本線の維持・活性化についてどうお考えか。

##### 【事務局】

- ・JR関西本線は本市にとっても重要な幹線であると考えている。鈴鹿市地域公共交通会議の委員として、JR東海には参画いただいておりますが、計画の目標や取組には設定していない。一方で、JR関西本線については、三重県の枠組みで取組を検討頂いている側面がある。県及び沿線市で構成される三重県鉄道網整備促進期成同盟会では、沿線地域の活性化と利便性向上について取り組んでいる。

##### 【委員】

- ・県としては、関西本線の維持、活性化は重要な課題と考え、各市町、特に亀山市・伊賀市が中心となって実証実験などに取り組んでいる。

##### 【委員】

- ・施策2-1、2-2の中で手引書作成と地域づくり協議会へ配布済との話が合った。2027年度までに4つの協議会と相談していくという内容があったと思うが、他の協議会との相談事例はどのようなものがあるか。

##### 【事務局】

- ・稲生地区、長太地区と協議を行っている。令和7年度の手引書配布後に問い合わせがあったのは鈴峰地区のみとなっている。今後も地域ニーズの汲み取りに努めたい。

##### 【委員】

- ・社会福祉協議会では、地域の支え合い活動に取り組んでいる。今年度地域づくり協議会に入り、どのような支援が必要か話をする予定。その中で公共交通の話も上がると思われるので、関連することがあれば市に共有したい。

## (2) 鈴鹿市地域公共交通計画改定に向けて

### 【事務局】

- ・ 資料3に基づき説明。

### 【委員】

- ・ 地震等の災害が起きた場合の公共交通の維持管理について検討していく必要があるのではないか。

### 【副会長】

- ・ 現在の計画がコロナ禍での作成だったので、計画のベースをどうしていくのか、コロナ禍を経てどうなったのか、スタート時点はそこに置かなければならない。
- ・ 今後、不測の災害等が起きた場合、どう移動を確保していくのか、というのを考えておく必要がある。
- ・ コロナ禍を経て、輸送資源を提供する運転手・整備士といった輸送サービスを支える人材の確保が課題となっており、限られた資源の中で最適な交通ネットワーク構築を考えることを意識してほしい。
- ・ 計画策定のための調査の中で、地区ごとの勉強会などを実施し、通学交通や買い物などの生活交通、運転手確保など、どういったことに困っているかを地域に聞いて地域ごとの課題が浮かび上がっていくのではないかと。
- ・ 地域によって、交通施策に積極的な地域とそれほどでもない地域とに分かれると思うので、そのことを踏まえて今後の施策を考えていくべきと考える。

### 【副会長】

- ・ 国のガイドラインも大事だが、計画には鈴鹿市らしさがほしい。
- ・ 「幹」「枝」「葉」で交通を考えていかないといけないので、地域の実情に応じた移動手段確保のための手引書をどう活用していくかを、継続的、体系的に考えていかないといけない。
- ・ 自家用車活用事業について、計画の枠内に位置付けておかなくともうまくいかない。

### 【委員】

- ・ 様々な計画と連携して進めていくべき。
- ・ 自動運転は自転車の追い越し等のハードルが高く、道路整備をして自転車専用道路や歩道を作る必要性が出てくるため、数年から10年単位で検討すべきと考える。
- ・ 道路整備が進めば、自動運転車での公共交通実現が早くなると思う。
- ・ 自動運転を見据えて、道路工事の計画をしていくことが、結果的に、自動運転時代にスムーズに移行できる。

【委員】

- ・計画策定にあたり国の補助事業を受けると思うが、この場合第三者評価があるので、補助事業と現在の地域公共交通計画のPDCAサイクルのCとAがどうだったかを並行して実施していくことになることを理解しておいてほしい。

(3) F1日本グランプリ タクシー輸送取組結果

【委員】

- ・資料4に基づき説明。
- ・大きなトラブルは各公共交通機関なし。来年度も同じスタイルで実施していきたい。

【委員】

- ・乗合輸送を白子駅からサーキット行で8時～12時、名古屋行きは15時～21時で運行した。
- ・反省点も色々あるが、来年度に向け相談の上、実施したい。

【委員】

- ・東京からのハイヤーも多く見た。実際、F1開催は鈴鹿の利益になっているのか。

【委員】

- ・鈴鹿や津地区は、間違いなく利益になっている。

(4) AI活用型乗合デマンド交通「のり愛みかん号」の実証事業結果

【事務局】

- ・資料4に基づき説明。

## 5 その他

【委員】

- ・夜中に体調が悪くなり、救急車を呼ぶほどでもないが、タクシーを電話予約できる方法はないのか。

【委員】

- ・時間帯によって稼働できるタクシーの台数が異なるため、配車できたら予約を受け、満車であれば待つていただくこととなる。

【委員】

- ・バス事業について、運転手確保の関係に奔走してはいるが、待遇を改善しなければ、担い手がいなない状態。

- ・運賃改定に関してはこういった部分や安全投資に利用されるのでご理解いただきたい。

【委員】

- ・先日開催のF1では、インバウンド、東京から、大阪からのお客様が多く、また、平田町駅の利用が増えた。

【委員】

- ・F1では、利用非推奨の呼びかけを行った結果、当社の鉄道利用者数が減り、スムーズに運営できた。

【委員】

- ・LPガススタンドが撤退し、タクシーの補給所がない状態。
- ・ジャパンタクシーの販売も終了し、タクシー新車はなかなか手に入らない。
- ・物価高騰の影響が著しいが、補助金などを活用し、頑張っていきたい。

【会長】

- ・議事進行への協力や貴重なご意見を賜り感謝申し上げます。

【事務局】

- ・長時間にわたり活発な議論をいただき感謝申し上げます。
- ・本日の協議を踏まえて、施策の取組内容等を整理させていただき、議事要点録を委員各位に共有させていただく。
- ・次回は鈴鹿市地域公共交通会議分科会を9月に開催予定である。

以上、16時32分終了